

リノベーションまちづくり

「今あるものを活かして、まちを変えていく。」そんなリノベーションまちづくりの動きのうち、空き家を活用した事例を紹介します。



空き家を活用したい



新しい事業を始める



リノベーションまちづくりで目指すのは まちへの想いをを持った魅力ある人たちの背中を押すこと



大和郡山まちづくり株式会社 代表取締役 大垣 満さん

大和郡山まちづくり株式会社の取り組み

大和郡山の城下町エリアで、所有する空き家の活用に関心するオーナー様とこのまちで新しい事業を始めたいと願う人々をマッチングし、事業計画づくりから店舗の開業までを一貫してサポートしています。

建築士としての経験、リノベーションスクールでの学び

私は学生時代より建築を学びながらまちづくりに興味を持ち、エリアリノベーションの建築設計会社で建築士としての経験を積みました。その後、生まれ育った本市で2020年に開催されたリノベーションスクールへの参加を機にUターンを決意。古民家をリノベーションによって再生させ、人々が交流し賑わう新たな拠点(店舗)を創出してきました。

大和郡山での暮らしが楽しく、豊かに

単にまちなかの店舗数を増やすのではなく、地域での暮らしが楽しく、豊かになったと感じる人々が増えることが、私のまちに対する想いであり、目指しているゴールです。

「大和郡山のまちが元気になるなら」×「大和郡山から笑顔をつくる」 貸主の想いと事業主の夢が創りあげた新しい居場所 “cotton”



レンタルスペース/ワタマチテアール・福祉事業所/cotton(綿町)

リノベーションスクールをきっかけに、「大和郡山のまちが元気になるなら」という想いで築約80年の長屋をお貸しすることにしました。物件を他の形で活用することも考えていたのですが、今では多くの人々がつなげる場になっていて、とてもうれしいです。

今後も若者の愛着を育て、人が増えていくまちづくりのために市の取り組みに協力していきたいと思っています。(貸主談)



一般社団法人eight 代表理事 藤本 貴久さん

「やってみたいをカタチに！」をモットーに、市内で地域に根差した福祉事業を展開しています。リノベーションカレッジをきっかけに始めた“cotton”では、地域の人との交流を積極的に行い、障がいのある人々への理解を深めるための活動に取り組んでいます。10年ビジョン「大和郡山から笑顔をつくる」のもと、将来は年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して利用できる拠点となることを目指しています。

紙面に書ききれなかった、みなさんの熱い想い こぼれ話を市HPでも紹介しています

この特集を組む際に、みなさんへインタビューをしましたが、その想いを伝えるには紙面が足りませんでした。リノベーションカレッジやリノベーションスクールについても紹介していますので、市HPもぜひご覧ください。



空き家や空き店舗などのリノベーションで 新しい憩いの場が次々と誕生しています



築90年の空き店舗を

リノベーション

町家未来基地(矢田町通)



食材にこだわる飲食店舗とレンタルスペースなどを併設する複合店舗。まちの愛される場所へ。



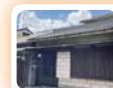
築100年以上の長屋を

リノベーション

En-gawa(柳町商店街)



カフェを併設した建築事務所。老若男女に愛されご縁をつなぐ場所に生まれ変わりました。



築70年以上の旧歯科医院を

リノベーション

柳町フラット(柳町商店街)



カフェなどが入居する複合店舗。だれでも“ふらっと”立ち寄れる憩いの場に。



築90年の古民家を

リノベーション

綿々 KIKI(新組屋町)



郡山城下町を巡る旅の拠点となる、一棟貸の宿泊施設に。



入居者募集中の新しい物件



コーヒESHOPや日替わり店主のCHALLENGE MARTが入居する複合店舗。通勤通学など多くの人が行き交う近鉄郡山駅前のロケーションでチャレンジしてみませんか？



築70年以上の旧化粧品店をDIYでリノベーション、ハンドメイド作家のためのシェアアトリエに。最大18組入居可、共有スペースではワークショップなどを開催できます。



申込は、大和郡山まちづくり株式会社
公式LINEから



まちなかにある空き家を活用し、新規事業の立ち上げをサポート！

リノベーションカレッジ説明会&対象物件内覧

- 日時:10月5日(日)10時~11時
- 場所:オカマチ荘(東岡町38/駐車場・駐輪場なし)
- 運営:大和郡山まちづくり株式会社